

平成31年4月2日

平成31年度 北九州市立楠橋小学校 学校経営の基本方針

北九州市立楠橋小学校
校長 安元 裕彦

1 北九州市教育の目標

「思いやりの心をもつ、自立した子どもを育む」

- 自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- 思いやりの心もち、行動できる子ども

2 教育委員会 「指導の重点」

一人一人に「生きる力」をはぐくむ学校教育の創造

- 心の育ちの推進
 - 確かな学力の向上
 - 健やかな体の育成
- ～ 授業の改善・一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある ～

3 学校教育目標

心豊かで たくましく 実践力のある子どもの育成

4 目指す学校像 『子どもたちの笑顔があふれる学校』

- ・ 子どもをど真ん中においた、楽しい学校
- ・ 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- ・ 子どもが力をつけ、自分の価値を感じる学校
- ・ 地域に開かれた学校

5 目指す子ども像

- 思いやりのある子（徳）
「相手を思いやり、仲良く助け合える子ども」
- 健康でたくましい子（体）
「健康で、最後まで粘り強く頑張れる、たくましい子ども」
- かしこい子（知）
「進んで学び、自分で考え、よりよく行動できる子ども」

6 目指す教師像

子どもを伸ばす プロ

- ☆ 子どもに明るく接し、温かい指導をする教師
 - ※子どもとT o g e t h e r (いっしょに)
- ☆ 組織の一員としての自覚をもち、協調性をもつ教師
(ベクトルをそろえる)
 - ※教職員がT o g e t h e r (いっしょに)
- 子どもの力を伸ばすために、子どもがより良く変容するために努力を惜しまない教師
- 教職の専門性、とりわけ指導力の向上のために常に自己研鑽に努め、自分をより良く変容させる努力をする教師
- 自分に、自分の仕事に、誇りと自信をもった教師
- 自らの人間性を高める教師

7 重点目標

(1) 好ましい人間関係の構築

- 子どもと教師との友好的人間関係をつくる。
 - ・学級事務の効率化→**子どもと過ごす休み時間(遊ぶ)**→子どもと触れ合う時間の確保
- 子どもと子どもとの友好的人間関係をつくる。
 - ・子どもたちの情報の共有化→定例的な生徒指導部会→学年への伝達
- 保護者と教師との友好的人間関係をつくる。(保護者が教師に好感を持てば、子どもにもよい影響が出る)
 - ・「**1に家庭訪問、2に電話、3に連絡帳・手紙**」の徹底
 - ・「報・連・相」の徹底→早め早めの対応による問題の重大化の防止
- あいさつ指導の徹底(明るく、気持ちの良いあいさつが、自らできるように)**
- 正しい言葉遣いの徹底**

(2) 安全・安心な学校づくり

- 学年や学級の課題を全職員で共有(一人一人の児童を全教職員で育てる)
- 生徒指導の充実(確実な事実確認と早期即日対応で早期解決を)
- 子どもたちの安全を守る。
 - ・いじめアンケートの定例化→子どもたちの人間関係の把握及びいじめの早期発見・早期対応
 - ・定期的な研修・事務改善会議及び安全点検の確実な実施→危機管理意識の高揚
- 職員の健康と精神の安定を守る。(教師が元気な学校は、子どもにとって「よい環境」となる)
 - ・何でも話することができる職場の雰囲気づくり→**問題事象を一人で抱え込まない組織(風通しのよい職員室)**

(3) 学力・体力の向上→「わかる」「できる」授業づくり

- 授業改善**→「話し合う活動」「書く活動」の位置付け
- 聞く力(態度)の育成**
- 少人数指導の工夫(少人数・ITでの指導～重要単元の精選)→3・5年生(重点学年)
- 「朝の10分間読書」「読み聞かせ」「くすの子タイムI・II」「**昼休みや放課後学習会**」「子どもひまわり学習塾」の継続。
- 学力体力向上関連事業の活用・推進教員との連携
 - 「学力向上推進教員」「小中連携教員」「保幼小連携教育」「体力アップ1校1取組」

(4) スクールプランの推進

(5) 人材育成の推進 (OJT の組織的な実施)

